

令和5年度1月期古賀市社会教育委員の会議 議事録

- 【 会議名称 】 令和5年度1月期古賀市社会教育委員の会議
- 【 日 時 】 令和6年1月16日（火） 18時30分～20時00分
- 【 場 所 】 リーパスプラザこが交流館 302洋室
- 【 主な議題 】
- ・人材バンクについて
 - ・生涯学習基本計画（案）最終版について
 - ・リーパスプラザこがリニューアル基本計画（案）最終版について
 - ・次回の生涯学習笑顔のつどいについて
- 【 出席委員 】 井浦議長、角森委員、村山委員、橋爪委員、砥上委員
倉掛委員、石川委員、丸井委員、山本委員（以上委員9名）
- 【 欠席委員 】 0名
- 【 事務局 】 教育部長、生涯学習推進課長、村上参事補佐、平川、田原
- 【 傍聴者数 】 0名

【配布資料】

- ・レジュメ
- ・人材バンク設置要綱の廃止要項について
- ・第3次古賀市生涯学習基本計画
- ・リーパプラザこがリニューアル基本計画
- ・笑顔のつどいまとめ

【次第】

1. 開会あいさつ

2. 協議事項

(1) 人材バンクについて

(2)①生涯学習基本計画（案）最終版について

②リーパスプラザこがリニューアル基本計画（案）最終版について

(3)次回の生涯学習笑顔のつどいについて

開催日程 月

テーマ

3. その他

(1) 各委員から

(2) 事務局から

・糟屋地区社会教育委員研修会

日 時：令和6年2月3日（土）9時30分～

場 所：そびあしんぐう 多目的ホール

テーマ：「家庭教育支援活動と社会教育委員の関わり」

(3) 次回開催日程

2月 日（ ） 18：30 ～ 会場： 103

4. おわりの言葉

【会議内容】

1. 開会あいさつ

2. 協議事項

(1) 人材バンクについて

(事務局)

資料の説明

(倉掛委員)

マッチングはどこがされるのか。

(事務局)

リーパスカレッジの地域で行われる講座に関しては、講師の連絡先を公開しておらず、公民館係に相談していただくようにしている。つながりなかまに関しては、プッシュ型なので、自分で手を挙げる形になる。

(倉掛委員)

例えば、私がやっている子どもひろばで、締め縄作りたと言った時に、締め縄作れる人というのは、公民館係にお尋ねすればいいか。

(事務局)

締め縄作れる人という情報をリーパスカレッジの講師の中は持っていない。一旦、お問い合わせいただければと思う。

(倉掛委員)

今までも人材バンクを見ても、なかなか該当する人が見つからなかった。そのような、ニーズを聞くことも必要。登録プッシュ型は、逆にこういう遊びをコーディネートしてほしいとか、ニーズを持って、該当する人を探すのも必要ではないか。今までも、人材バンクがあまり機能してないというのは感じていたので、廃止というのはわかるが、じゃあ、そのニーズはどうやったら叶えられるだろう。

(角森委員)

つながりひろばが募集を出すのか。

(事務局)

つながりひろばがやっているのが、あくまで登録団体が「こういう人材を探しています」というもの。ご相談が団体からの場合にはつながりひろばに、分館からの場合は公民館係に一旦ご相談をいただくようになる。

(角森委員)

最初に相談するのは、公民館係とつながりひろばのどちらがいいか。

(事務局)

どちらでも構わない。話を聞いて、どちらが話を受ける方が良いかを判断させていただく。分館は、公民館係として話を受けたいと思うし、任意団体は、つながりひろばが主管になる。自分がどちらに相談したらいいかわからないときは、一旦相談いただければご案内をする。

(井浦議長)

なかなか相談する人は、自分がどっちか分からない。それを割り振りされる。言われたニーズをどう今後把握するかというのは、また課題としては残ってくるかなど。

(倉掛委員)

例えば締め縄や、餅つきなど、昔のことをやってくれる人を若い人が探しているケースが結構ある。親世代がそういう経験がないから、そういうことを教えてくれる人を探す時に、マッチングするところはあると思う。保護者が、昔のことを知りたい、子供たちに昔の遊びをさせたいという時に、本当にどうしたらいいのだろうという声をよく聞く。私も何回か、教育部局や、福祉に聞きに行くが、なかなかうまくいかなかった。ただ名簿があって、この人たちの中から探してくださいではなくて、人材をよくご存知な人や、部署があればいいなと思う。

(井浦議長)

今回の提案が、現在使われている人材バンクが機能していないというのが背景にあるので、新しい形を作り直すというのは十分考えられる。私もこの課題を受けて調べてみた。社会教育総合センターが社会教育の調査を経年ですっとやっているが、その中に、人材バンクに関する項目がある。1つが「生涯学習、社会教育、主管課が現在重点的に取り組んでいる分野はなんですか？」その中の 選択肢の 1つに人材バンクというのがあるが、21個の選択肢の中の1つで平成18年の回答では42%、令和2年の回答では21%と、21ポイント差が出る。「今後取り組む予定の分野は何ですか」という項目では、21個の選択肢の中で9番目だから中ほどという状況。

しかしながら、生涯学習、社会教育、主管課が 住民の社会参画を推進する上で取り組むべき課題は何か。10 個の選択肢のうち人材バンクを挙げたのは、平成 18 年が 39%、令和 2 年は 26%とやはり下がっている。マイナス幅では 2 番目に多い。ところが、質問が少し変わって、公民館を活用した人づくり、まちづくりということになると 59%増える。社会参加につながる社会地域課題、現代課題をテーマとする取り組みでは 47%、住民参加に対する企画講座、市民講師の活用では 45%。こういうものに取り組みたいというのが高い。ストレートに人材バンクと言ったら下がるけど、人材バンクに関する中身になると期待度は非常に高いというのが出てくる。今年、古賀市の提案があった分、講師の更新もなかなかできてないというところではしっかり見直しをしていただいて、新しい形で公民館係ができること、つながりひろばができること、そういうものを整理して新しく動き出すということには、いいタイミングじゃないかなと思って聞かせていただいた。本当に活用できるという形になるようにつながりひろばとも相談していただければと思う。

(石川委員)

ご登録されている方に講演やお手伝いをお願いしたい時に、謝礼関係はどうお話しされているのか。

(事務局)

人材バンクに関しては、講師の方と利用希望の方がお話し合いをされて金額を決めるとなっていた。今後、公民館係がリーパスカレッジとして交渉を行っていただく際も同じような形で考えてはいる。あらかじめいくらぐらいでお願いできるかということ把握している。また、地域貢献というところでご検討いただくようお願いしている。

(井浦議長)

実際、これはもう決定で動くということなのか。

(事務局)

実際、要綱の廃止になるので、教育委員会としては、定例教育委員会にかけてご賛同いただければ、翌年度から廃止になる。

(石川委員)

ジャンル別になっているのか。

(事務局)

登録自体は、ジャンル別に分けてはいたが、そのジャンル自体が平成 23 年度にできた案だったので、そこからの見直しが必要と考えていた。

(石川委員)

一覧表は出していただけるのか。

(事務局)

今見直しをしている途中で、登録者に登録の状況を確認していない状況がある。こちらで把握できている中でもお亡くなりになられた方も含まれている。そこを含めて整理をしたいと考えている。ご相談をいただければ案内する。

(山本委員)

登録者は今何人ぐらいいるのか。

(事務局)

今うちで持っている数字だけでも 30 人以上はいる。先ほど申し上げたように亡くなられた方も混ざっている状態なので、要項を廃止することがはっきり決まれば、それぞれの皆様にご連絡を取って、綺麗な形ができるのかと思っている。

(倉掛委員)

毎年更新する作業はされていなかったのか。

(事務局)

更新作業を途中まではしていたが、コロナの影響もあり、その更新作業自体が、途切れていた時がある。それを合わせて整理をしたいと考えている。

(村山委員)

登録のある方は、声がかかれば 1 人で、グループを 2 時間指導ができるような方か。ちゃんと調べているのか。

(事務局)

今まで登録があった方に関しては、実際どこまでできるかというところは、十分な確認が取れていたかどうかは不明な状況ではあるが、リーパスカレッジの講師にする場合に関しては、その方が講座をお出来になるかどうかを十分に確認した上で、まず市の事業であるリーパスカレッジとして講座をやっていただいて、それから地域に出ていただくという形になる。これを整理することによって、今おっしゃったような、この方が果たして地域に出て 2 時間教えることができるのかというのは、この制度の見直しできちんとできる。

(村山委員)

なぜこういう質問をしたかという、一時期お出来になる方を集めて、名簿を作ったりしたが、実施すると素人の方であったりするので、うまくいかないことがあった。やはり、指導支援などができるかどうかというのを確かめが必要だと思う。

(井浦議長)

見直しをされて、また新しい形で動き出しますのでよろしく願いいたします。

(2)①生涯学習基本計画(案)最終版について

(事務局)

1月26日から2月25日までパブリックコメントに出して、そこでまた市民の方からご意見をお伺いするような形になる。パブリックコメントいただいた意見など、修正して、最終案になる時にまた改めて報告させていただきたいと思う。

(倉掛委員)

パブリックコメントで出た意見は、私たちは見ることはできるか。

(事務局)

集約して3月の時にご確認いただいて、最終的に印刷したいと思う。

②リーバスプラザこがリニューアル基本計画(案)最終版について

(事務局)

資料の説明

(倉掛委員)

66ページの事業手法のところだが、以前、図書館の民間委託の話が合った時に食いとどめたところがあったので、私は図書館が気になっているところ。私はどちらかということ、休みのことを考えると市民がより良い時間帯で職員がいたほうが良いと思う。

(事務局)

部分的に、中身はまだ色々検討していく。

(石川委員)

部分改装でずっとやっていかれるということは、部屋を使えないという時期は出てくるか。

(事務局)

計画的にやるが、使えないという時期は確かに出てくる。

(石川委員)

リーパスプラザは、部屋の利用者が多いが、3階の部屋はあまり利用がなく、2階の方がダンス室の取り合いになっているので、3階もフロアにしようかと聞いたが、利用団体の意見も聞いていただけるのか。

(事務局)

3階は利用が少なく、2階が多いというのはもう把握できている。そういったものを反映するために、例えば、3階の和室を減らすといった案もある。

(倉掛委員)

リーパスプラザが建つ時に、たくさんの市民に活用していただくということで、駐車場の問題が出ていた。そのときは、何かの問題があって立体駐車場ができないと聞いていた。今はどうなのか。

(事務局)

立体駐車場の可能性もないことはない。それがもし考えられるとしたら、立体駐車場が建てられるような計画を立てないといけない。そこはしっかりと考えたい。スケジュール感を出しにくいところがあり、住まれている方もいるので、どの順番でやっていこうかというところがなかなか図りにくいところがある。

(3) 次回の生涯学習笑顔のつどいについて

(事務局)

資料の説明

(井浦議長)

提案書の説明

(砥上委員)

第1回目は参加者が338名。これは大ホールで開催したのか。

(事務局)

大ホールで開催している。

(砥上委員)

アトラクションを5回目まで行っている。今も求めるニーズがあるのなら、また取り入れてもいいのではないか。

(井浦議長)

アトラクションの良さがアトラクションだけ見て帰ることもある。例えば、子どもたちがアトラクションをすると、親や祖父母が来る。でも、アトラクションが終わったら帰ってしまう。アトラクションに参加するなら、アトラクションに出た人を、次の後の分科会やワークショップに残しておかないともったいないなど感じる。

(石川委員)

アトラクションは後に持ってくると最後まで観ていただけるのではないか。

(倉掛委員)

例えば、社会教育委員が出向くということもあるのか。笑顔のつどいではなくなるかもしれないが、みんなで集まってと言うのではなくて、例えば、来年度は社会教育委員がテーマを設けて市内を視察するのはどうか。

(井浦議長)

似たようなパターンが九州大会に私が入った分科会であった。東京であったのが、社会教育委員が、会議に入って、テーマごとの住民の声を聞くプログラムやって、面白いなど思った。私たちは社会教育として住民の声を行政に伝えるというポジションなので、ある地域の公民館に行って、その地域の住民の方の声を聞いて、何かを企画するとかいうのもある。

(石川委員)

この間、新宮で文化講演会があり地元のお笑いの方が来られていた。満席で、立ち見で5、600人ぐらい、多目的ホールが入りきれないくらい来られていてすごいなど思った。こういう地元を応援するような、楽しい企画を求めているのかなと思った。

(井浦議長)

やはり、聞くばかりだとあまり面白くないので、やはり参加型で、第5、6回は、ワークショップで回るように形を変えた。

(石川委員)

私も古賀ヒューマンカレッジを11年間やってきたが、やはり対象者や、興味がある方が同じようなパターンだとあまりよくないので、いろんな方を入れていく方がいい。スポーツで頑張っている人たちを呼ぶと子供たちも興味を持つようになる。もう少しみんなが興味を引くものがあるといい。スポーツ業界、作家、弁護士などいろんなジャンルを取り混ぜたほうがいい。

(井浦議長)

私が2年前に県の社会教育の会で発表させてもらった。その後、市町村に何か所か呼ばれて、古賀市の活動のお話しさせてもらって、笑顔のつどいを続けているすごさは、他の市町村から、かなり評価を受けている。8回まで続いてきているので、目処は10回ぐらいとしながらも9回目の活動をどうするのか、前回の課題の広報のあり方も含めたところで、どういうプログラムすれば笑顔のつどいに合ったものになるのか、次回、持ち帰りいただいて、私の書いた資料も参考にさせていただきながら提案書を作っていただきたい。もう、スパッと切って、新しいものにしようというのもありと思う。毎年社会教育委員が調査研究をしているところもある。いろんな形はあると思うが、先輩たちが作ってこられたこの笑顔のつどいを、どうするのかを含めて、願わくは10回区切りまでは持っていきたい。展望を持ちながら、作り上げて、次に繋いでいくことも必要だと思う。

(事務局)

提案書のデータを後日送らせていただきますので、提出をよろしくお願いします。

3. その他

(1) 各委員から

(石川委員)

文化協会から、1月21日(日)薬王寺公民館で劇団 DAICOON オリジナル朗読劇「薦野の増時さん」がある。2月18日(日)リーパスプラザこが大ホールで創立40周年記念のリズム体操のつどいがある。もしお時間ありましたらぜひお越しください。

(倉掛委員)

先日成人式がありまして、保護者でもあったが社会教育委員として参加した。とても落ち着いて、良かったと思う。お話の中で主催者も、来賓の方も、1月1日の震災のことに言及されていた。帰ったらニュースでも、「今日は全国各地で、成人式が執り行われました。一方で、被災地の成人は」という話が出た。あの子たちに教育の場を逃したなと思った。やはり自分が幸せだったら、他の人のことを考えるというか、思いを馳せるという

のを言葉だけではなく、実行委員のほうで形にできなかつたかなと思った。大人の私たちが募金箱を持って、募金できるようにさせてあげたらよかつたなと思う。今、本当に日本で足りないところはそこだと思う。世界中で戦争があつても日本は関係ないというのではなくて、じゃあ何ができるかとそこまで考えてもらえるようなきっかけを作りたいかつた。帰つてから自分で反省があつた。

(2) 事務局から

・糟屋地区社会教育委員研修会

日 時：令和6年2月3日（土）9時30分～

場 所：そびあしんぐう 多目的ホール

テーマ：「家庭教育支援活動と社会教育委員の関わり」

(3) 次回開催日程

2月14日（水） 18：30～ 会場：103

（おわりの言葉）

皆さんお疲れ様でした。私も倉掛委員のお話を聞いていて、よく言われるのが、機会教育。私もその時ってなかなか分からないので、ついずらしてしまう。やはりその期間にちゃんと伝えなきゃいけないといつも終わってから気づく。だから常に機会教育っていうのを頭に入れとかなないといけないと思う。今回の震災の中でも首相が、最初のインタビューの時、「県を待たずに支援をします」と言った。よく考えたら、何かあつた時は県を通して国に派遣をお願いする。市長が福岡県に言って、福岡県が国に災害派遣をお願いしないと、国は出てこない。しかし、今回は国が県からの要請を待たずに支援する。それが普通と思うが、そういうルールがある。だから、やはり倉掛委員が言われたように、若い子たちが思いを馳せるチャンスを作ってあげないと。多分可哀そう、大変そうだなという思いはあると思うが、結びつかない。そういうチャンスを作るのが大人の役割なのかなと思う。今日はありがとうございました。